## **PRESS RELEASE**



2023年5月29日

報道機関 各位

## RECNA ポリシーペーパーNo. 18 『核兵器問題の主な論点整理:国際人道法編』 刊行について(記者会見)

長崎大学核兵器廃絶研究センター (RECNA) は、時宜を得たテーマで、専門家によるポリシーペーパー (論考集) を発表してまいりました。RECNA は本日、日本学術振興会の科学研究費助成 (基盤研究 B) による研究プロジェクト「安全保障を損なわない核軍縮」(研究代表者:長崎大学・吉田文彦)の成果の一環として、ポリシーペーパーNo.18「核兵器問題の主な論点整理:国際人道法編」を刊行いたします。これは、先に刊行したポリシーペーパーNo.17「核兵器問題の主な論点整理:国際政治・安全保障編」に続くもので、ロシアのウクライナへの軍事侵攻で改めて注目を集めている国際人道法を取り上げ、核兵器との関係に焦点を当てて分析を行なったものです。国際的な安全保障において、「法の支配」が脚光を浴びている昨今、国際政治における国際法の機能と限界についても考える内容になっております。

ポリシーペーパーNo.18 につきまして、以下の通り、対面及びオンラインにてブリーフィングを行います。オンライン参加をご希望の方は、Zoom リンクをお送りいたしますので下記問い合わせ先までメールにてお申込みください(申込期限:5月30日(火)17時)。

なお、ポリシーペーパーNo.18 は長文になっています。短い「要点」を用意しております。本文および要点を事前にお読みになりたい方は、こちらにご連絡いただければメールにてお送りいたします。ただし、本文および要点とも記者会見終了予定時間(31 日 12:30)を解禁時間とさせていただきますので、何卒ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいします。

記

■ 刊行物: RECNA ポリシーペーパーNo.18『核兵器問題の主な論点整理:国際人道法編』

■ 日 時:2023年5月31日(水)11:00~12:30

■ 開催方法:長崎大学 RECNA1 階会議室 及び Zoom によるオンライン配信

■ 報告者:吉田 文彦 核兵器廃絶研究センター センター長・教授

河合 公明 核兵器廃絶研究センター 副センター長・教授

## 【本リリースに関するお問い合わせ先】

核兵器廃絶研究センター総務係 TEL 095-819-2164/ FAX 095-819-2165

E-mail recna\_staff@ml.nagasaki-u.ac.jp